者ガ何カノ間違違ヲシタモノデハナイカト思フ」

兎ニモ角ニモ當時ノ先進文明國人 PHILIPP FRANZ VON SIEBOLD ハ或ハ黄色人種ノ日本婦人ヲ愛人ニシタコトガ社交ニ於ケル大イナル Handicap ニナルノデ自己ノ榮譽ニ對シテ此一事ニ就テハ口ヲ噤マナケレバナラナカッタノデハナカッタノデアロウカ、否カ

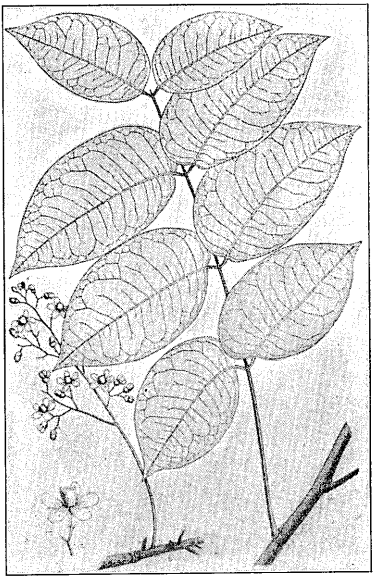
ソレダノニ WILSON ハ Japanese scholars fail to understand ナンテ馬鹿ナコトヲ放言(ヌカ)シタモノダ日本ノ分類學者如何ニ賢明ナリト雖モシーボルドノ夜伽ノ名マデ知ロウ筈ハナイ、コンナコトニナルトスルト後日ノ爲メW氏ガ東洋旅行中携帶シタ夫人ノ戸籍謄本デモトッテオカネバナルマイジャナイカ

○まほがにー樹トハドンナモノ歟

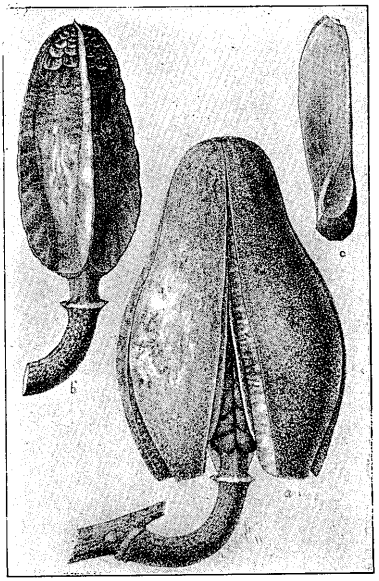
久内清孝

Mahogany ト云フ名詞ハ英語讀本デお馴じみノ語デアルガ日本人ニハ居ナガラ其正體ヲ會得スルコトハ困難デアルト思フカラ以下聊カまほがにーヲ紹介スル、但シ實物ヲ見ズニスル紹介デアルコトヲ斷ッテ置ク ●まほがにートシテ世ニ知レテ居ル木ハ通常二種デアッテ何レモ中央亞米利加ヲ中心トシ其南北ニ自生シ他ニハ絶對ニ天然生ナキ種類デせんだん科 Meliaceae ニ屬シテ居テ學名ヲ Swietenia Mahagon JACQ. (S. Mahagoni L.) ト云フモノト S. macrophylla KING. ト云フモノトアルガ前者ガ正眞正銘ナまほがにーデアル ●屬名 Swietenia ハ千七百六十年ニ JACQUIN ノ始テ命名シタモノデ當時ノ獨逸國ノ女帝 MARIA THERESA ノ侍醫 GERARD VAN SWIETEN ノ名ニ因ンダモノデ種名 Mahogon ガ土語デ英語ノ Mahogany ハ其轉化デアル ●まほがにー樹ハ能ク成長スル時ニハ高サ八十乃至百呎ニモ達シ樹幹ハ直徑四乃至六呎ヲ示ス就中樹ノ基部ハ非常ニ肥大シ八月ノ候白色又ハ淡紫色ノ小花ヲ開キ十、十一月頃ニ至リ暗褐色ノ蒴果ヲ著ク其長サ三乃至六吋幅員一乃至

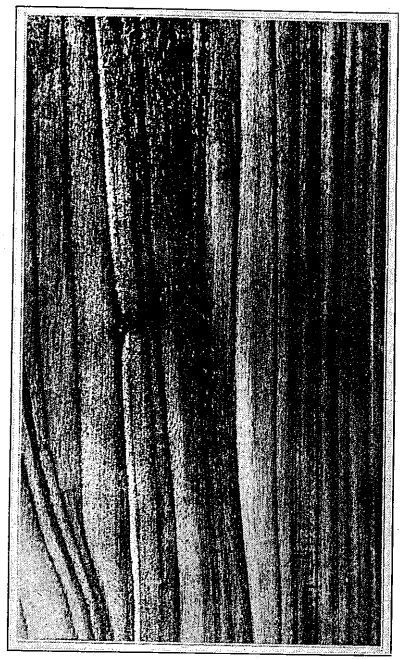
二吋熟スレバ基部ヨリ縦裂シ種子ヲ散ズ種子ニハ翼アリ葉ハ枝ニ互生シテ葉柄ヲ有シ羽狀複葉ニシテ各小葉ハ短小柄ヲ具ヘ卵狀披針形ヲナシ鋭頭淡綠表面光澤アリテ平滑裏面ハ微ニ褐色樹皮ハ赤色デ鱗狀ヲ呈スル●まほがにー樹ガ歐羅巴人ニ知ラレタノハ千五百二十一年カラ千五百四十年ノ間デアッテ當時イスパニア人ハ此木ヲ主トシテ造船ノ料ニ供シタ又英國ニ此木ノ這入ッタノハ千七百三十四年頃デアル、又英國人 Sir Walter Raleigh ハ西印度デ麾下ノ船舶ノ修理ニ用ヰタト云フコトデアル其時代ニハ此木ハ Cedrela ノ名デ知ラレテ居タモノデアルガ其後同ジ科デハアルガ別ノ屬ニナッタ(因ニ言フガ Cedrela odorata L. ハ葉巻莨ノ箱トシテ用ヰラレテ居ル各國共此目的ニハ Cedrela ガ賞用サレテ居ル)●まほがにーハ建具又ハ家具ノ材ニ賞用サレル樣ニナリ千八百四十六年ニ英國デ消費サレタ數量八五、〇〇〇、〇〇〇板呎ニ達シタト記サレテアル是ニ由ッテ觀ルモ英國人ガ如何ニ此木ヲ愛用シタカガ覗ハレル然シ其主用途ノ造船用デアッタコトハ勿論デアラウ又同時



まほがにー (Swietenia Mahagon Jacq.) ノ花葉(U.S. Dept. of Agric. ノ Bulletin =據ル)



まほがにー ノ果實ト種子
(同 上)



まほがにー材ノ木理
(同上)

代ニ於テ亞米利加ト關係ノ深カッタイスパニアニ於テモ同樣ノ需用ノアッタコトヽ思ハレル　●今カラ約ソ七十七年程前ノ千八百五十年頃ニハ英國ノ材木商ハ此木ノ供給ノ必ズ將來ニ減少スベキヲ慮リ其處デ其代用品ヲ世界ノ各地ニ需メタ爲メ亞弗利加並ニ印度ナドカラ其目的品ガ陸續トシテ英國ニ輸入セラレ色々ナ地名ヲ冠シタまほがにートシテ販賣サレタガ今日世界ノ各地ニ亙リテまほがにーノ名ヲ有スルトコロノ材木ノ存スル裏面ニハコンナ事實モ其原因トナッタデアラウ現在商業上まほがにート呼バレテ居ル所謂まほがにー代用品ハ實ニ十八科四十一屬六十七種モアルトノコトデアル　●然シナガラ眞正ノまほがにーハメキシコノ東南端ヨリコロンビアノ西北ベネゼラ及ビグイアナノ北部ニ達スル陸地及ビ島嶼ノ特產デアッテ現時ニ於テハ其供給ハ減少シツヽアルモコレハ何レノ森林デモ有勝ノ交通ノ便利ナ處カラ伐採サレル爲メ伐採シ易キ地方ニ減少ヲ見ル樣ニナッタノデ伐採容易ナラザル地域ニハマダ其量ハ少クナイラシイノミナラズ玖馬島ノ如キニハ今尚其純林ガ保存サレテ居ルト云フコトデアル　●Swietenia Mahagon ハ S. macrophylla ニ比シ葉形小ニシテフロリダ、西印度、中央及ビ南米ノ北部及ビメキシコニ主產シ海拔三、四千呎ノ邊ニ生ジ其生長速カナラザルモ材質極メテ優良デアルの. macrophylla ハ主トシテ英領ホンデュラス及ビ南メキシコノ沿岸平野ニ產スル、又まほがにーハ伐採シ得ル丈ニ成長スルニハ百乃至百五十年ヲ

要スル　●材質ハ産地ニヨリ決シテ一様ナラザルモ概シテ適度ニ强靱ナル組織ヲ有シ平等デ密接シタ木理ガアリ一度乾燥スルト狂ガ生ジナイコレガ木材トシテ貴イ所デアル又 Crotch Mahogany ト云フノハ「ベニア」板ニナッタモノデアル　●材ノ重量ハ乾燥シタ良材ニ於テハ一立方呎五十二封度半位ハアル夫レカラ使用サレル部分ハ紫檀ト同様心材デアッテ淡乃至深褐色ヲ呈シタ部分デ白太ノ部分ハ取去ラレテシマウノデアル　●千八百六十五年以來眞正まほがにーヲ移植スルコトガ行ハレ印度、ビルマ、アンダマン、亞弗利加ノ東西岸及ビ比律賓ニ於テ著々良好ナル成績ヲ擧ゲツヽアルカラ將來ハ勿論現時ニ於テモ此方面カラ斯材ノ供給ヲ見ル次第デアル　●まほがにーハ玖馬、メキシコ、南米デハ Caoba, Caobo 獨逸デハ Mahagonholz, Acajouholz 伊太利デハ Albero di acajou ホルトガルデハ Pao magno フロリダ地方デハ Madeira, Madeira wood ナド呼バレテ居ル尙 Acajou ハ濠洲デハ他ノ木ニ充テヽ居ル

○臺灣デ採集シタめりんすごけ科ノ一珍種

緒方正資

大正十五年一月地衣採集ノ爲メ臺灣ヲ縱走セル蕾軒朝比奈博士ノ驥尾ニ附シテ阿里山ニ到リシニ一蘚類ノ樹皮ニ著生シテ其處ニ在ルニ會セリ乃チ直ニ之ヲ採集シ後之ヲ鏡檢セシニ是レめりんすごけ科中ノ一珍種 Endotrichella elegans (Dz. ET Mk.) FLEISCH. ナルコト判明セリ、本種ハ熱帶性ノ蘚類ニシテ既ニ松田英二君ガ大正七年一月五日阿緱ニ於テ採集セラレタルコトアレバ同島ノ南部ニ於テハ今後更ニ各處ニ發見セラルヽコトナルベシ（寫眞ハ殆ンド標本實物大、葉並ニ子囊諸圖ハ廓大）

余ハ本種ヲ檢定スルニ當リ前記松田君ノ採集ニ係ルモノニテ笹岡久彥君ガブロテルス氏ニ送リ檢定ヲ求メタルモノ及ビ笹岡君ノ所藏スル比律賓イロイロ産ノ標本ヲモ參酌セリ後者ハ葉ノ頂部極メテ狹長トナリ細胞ノ構造